

発行：平成23年1月31日



# かながわ

No.54

看護連盟通信



撮影：広報委員 山内美智子

## 新年のご挨拶

神奈川県看護連盟 副会長 野地 金子



新年明けましておめでとうございます。今年、このように爽やかに、そして晴ればれとした気持ちで新年を迎えられたのは、高階恵美子さんが晴れて国会議員になられたからです。会員の皆様が一丸となって努力したこともさることながら、高階さんの内から湧き上がるエネルギーや心から発する看護職への思いが“この人をおいて他にない”と大勢の人の関心を惹きつけました。

高齢者のケアや在宅医療などで看護職はますます需要が高まるにもかかわらず、人員不足が続き、様々な策を講じても解決せずに、問題ばかり山積

しています。医療問題、身近に起こっている看護の問題は政治でしか解決することができないものが沢山あります。

でも、私たちの代表が国会にいる、それが何より心強いことです。多くの看護職が政治に関心をもって、その声を高階恵美子参議院議員に伝えていこうではありませんか。

国家資格をもつ看護職が働き続けられるよう、連盟は更に活動することが必要と思っています。老いも若きも力を出し合い一緒に進んでまいりましょう、本年もどうぞよろしく願い致します。



日本看護連盟 会長  
清水嘉与子

神奈川県看護連盟会員の皆様、明けましておめでとうございます。  
昨年7月の政権交代後初の国政選挙となった参議院選挙では、見事高階恵美子参議院議員を誕生させることができました。会員の皆様のご活躍によるものと感謝申し上げます。

医療の高度化・専門化はさらに進む一方、在院期間はどんどん短くなっています。医療を受ける場は病院だけでなく、在宅に地域にと広がっています。在宅ケア、看取りの看護など、これまで手薄になっていた分野で看護職の持てる能力を生かす政策の充実が急務です。私達が国会に送り出した阿部衆議院議員、高階参議院議員の活躍を大いに期待しましょう。今年も看護連盟に対するご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

神奈川県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。

いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また昨年の参院選では皆様の多大なるご尽力を賜り、たかがい恵美子議員という心強い同士を得ることができました。清水嘉与子先生、南野智恵子先生からのバトンを共にしっかりと受け継ぎ、引き続き看護の政策に全力で取り組んでまいる所存です。

私も2期目に入り1期目の頃とは比較できない程、国政の場で自分の果たす役割が広がっていることを日々実感し、現場の皆様の声を大切に取り組んでいかなくてはと気持ちを引き締めております。本年も皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



衆議院議員  
あべ 俊子



参議院議員  
高階恵美子

神奈川県看護連盟の皆様、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

就任から早や半年が経ち、つつがなく年明けを迎えさせていただくことができました。皆様の揺らぎのない情熱に支えられ、予想を超える大波・荒波・突風をも乗り越えて、ともに新しい歩み創めができたのだという喜びを、一層噛み締めている次第です。今年、たかがいは年女（としおんな）です。「物事の始まりはすべて現場にあり」この感覚を忘れず、これからも皆様とともにある参議院議員として、ウサギの如く駆け巡る所存です。

普く事を聴き、真髄を射る努力を尽くし。大きく躍進する！

これからも引き続き、熱い看護の心で、変わらぬご指導ご助力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年の選挙では、参議院議員「たかがい恵美子」さんが看護職の代表として当選し、南野知恵子先生の後を引き継がれました。このことは、看護界にとって力強く喜ばしいことです。

現在、日本の少子高齢社会において、看護職への期待は、日々増大しております。これからは、私ども看護職が、健康で長く働き続けられる職場づくりが重要であり、その環境整備のために社会の仕組みづくりが必要です。

本年も看護連盟の皆様と力を合わせて激動の社会を乗り切りましょう。



神奈川県看護協会会長  
平澤 敏子

# 南野先生 旭日大綬章受章 おめでとうございます



## 長い間ありがとうございました

2010年11月13日（土）ホテルオークラに於いて、参議院議員として3期18年間の御活躍とその功績に対する「感謝の集い」が開催されました。併せて叙勲の受章祝賀会も行われました。



# たかがい恵美子 活動報告

当選以来精力的に活動されている、たかがい恵美子参議院議員の活動を報告いたします。

- 11月7日 「訪問看護サミット2010—どうなる・どうする訪問看護—」をテーマに開催されたパネルディスカッションに出席
- 11月10日 自民党女性局による街頭演説会に参加
- 11月16日 参議院労働委員会において、初質問
- 12月20日 高齢化社会における看取り施設の視察を目的に神奈川を訪問



厚生労働委員会での初の国会質問

横浜市にある有料老人ホーム・訪問看護ステーション・緩和ケア病棟を視察し、その後、青葉区訪問看護ステーションの療養通所介護事業所を視察されました。町村信孝衆議院議員・末松信介参議院議員（兵庫県選出）も視察に加わり、施設の実態と看護者の役割の厳しさを観ていただくことができました。今後も全国で先進的取り組みを行っているところを視察される予定です。

(同行者 近藤会長・山内幹事)



聖隷横浜病院



青葉区訪問看護ステーション療養通所介護事業所

## トータルサポート。

- 寝具設備・病衣レンタル
- オムツ(布・紙)レンタル
- 介護用品のレンタル・販売
- ユニフォームのリース・販売
- クリーニング全般
- 給食業務受託 等

株式会社 柴橋商会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-11-5 SGビル  
Tel.045-312-5700 <http://www.shibahashi.co.jp>



## 平成22年度 都道府県別会議報告

幹事長 三澤きみ子

去る11月26日（金）に都道府県別会議が日本看護連盟常任幹事 阿津公子氏を迎えて開催されました。県役員、支部長、幹事長を含めて33名が出席しました。

近藤会長からは、7月の参議院議員選挙において高階恵美子氏が当選できた喜びと役員の選挙活動に対して感謝の意が表されました。しかし、神奈川県での投票結果についてはとても満足できるレベルに至らず今後の課題として重く受け止め努力したいと挨拶がありました。

阿津常任幹事からは、夏の参議院選挙にたいする労いのことばと選挙に勝った後の全国の看護連盟活動は元気がよいと話された。今回の選挙は、役割を持った人々が頑張った結果21万票の獲得ができた。今後の課題は、次期選挙に誰が候補者になり何票獲得できるかである。看護連盟組織としては、25万人の会員数の拡大を目指し、選挙時25万票の獲得を目標とすると挨拶がありました。

会議は、第22回参議院議員選挙の活動報告とこれからの活動の方向を協議する内容であり、以下のことが報告、協議された。

1. 都道府県の看護連盟の選挙活動と結果報告：都道府県別の活動状況が報告され、本県が他県に比べ、会員数に対して投票数が少ないことが分かった。（全国ワースト2位）
2. 神奈川県看護連盟の選挙活動と結果報告：①たかがい恵美子後援会入会者数は、6,499名であったが、選挙得票数は、3,551票であった。②支部別結果は、表1の通りであった。

支部名	得票数	加入施設数	会員数	支部名	得票数	加入施設数	会員数
川 崎	625	17	1,397	湘 南	306	20	144
横 浜 第 1	723	29	1,275	県 央	276	15	85
横 浜 第 2	456	24	600	富 士 見 町		2	24
横 須 賀	348	13	86	川崎助産師		11	11
相 模 原	324	12	1,435	横浜市西部	174	14	271
県 西	319	12	919	計	3,551	159	6,247

表1 支部別得票数

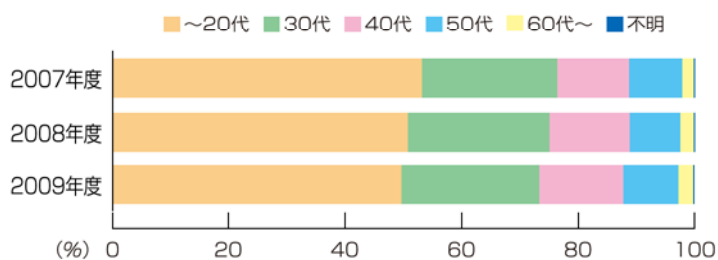
3. ①県連盟の会員数は、年々減少傾向にあったが、今年度は若干の増員となった。今後も会員数の増大が望まれる。②本県の年代別会員数は、20代、30代が圧倒的に多いことが特徴であり（年代別会員数表2グラフ1）今後も継続して、若手会員の連盟活動への認識を深めるための努力と活動への参加を促す工夫をしていく必要があるという討議がなされた。

	2007年度	2008年度	2009年度
～20代	3,516	3,231	3,093
30代	1,534	1,547	1,478
40代	815	877	896
50代	603	557	591
60代～	133	145	157
不明	12	11	15
計	6,613	6,368	6,230

表2

年代別会員数

グラフ1



# 投票行動促進の効果的な働きかけに関する調査

昨年、神奈川県看護連盟会員の皆様を対象として行った「投票行動促進の効果的な働きかけに関する調査」の結果が出ましたので、その一部をご報告致します。

調査結果の詳細は、神奈川県看護連盟総会の際、要綱にて配布致します。

## I 概要

### 1. 調査目的

神奈川県看護連盟会員の投票を促す働きかけ（例、電話作戦など）に対する反応を調査することによって、神奈川県看護連盟会員の投票率や投票行動を効果的に促進する要因を分析し、神奈川県看護連盟における会員の政治参加を促すためのデータ収集を行うことを目的とする。

### 2. 調査期間

2010年9月中旬～2010年10月中旬まで

### 3. 対象

神奈川県看護連盟会員（6247人）

### 4. 調査方法

質問紙によるアンケート調査

### 5. 調査内容

- ・看護の職場の業務が看護に関する法律によって定められているという認識の程度
- ・選挙期間中の投票依頼の電話の有無および電話を受けたことで感じたこと
- ・投票の有無および投票した候補者
- ・神奈川県看護連盟会員の政治や選挙に対する関心を高めるために必要なこと

### 6. 倫理的配慮

調査票には、回答内容は統計的に処理し、対象者が特定されないこと、また、本調査に回答しなくても不利益を被ることがないことを明記し、依頼した。

アンケートの問いの中で「たかがい恵美子さんに投票しましたか」と質問してもよいかとの問い合わせがありました。それには「回答した人が特定できない形での公表であればさし支えない」とのことでした。

## II 調査結果

### 1. 「『投票行動促進の効果的な働きかけ』に関する調査」の回収率および有効回答率

神奈川県看護連盟会員6,247人中、回答が得られたのは、3,486人であり、回収率は55.8%、そのうち有効回答率は99.9%（白紙12枚、非連盟会員1枚）であった。

### 2. 「第22回参議院議員選挙」における投票率および投票した候補者

「2010年7月に実施された第22回参議院議員選挙における投票した候補者」を図1に示した。

回答者のうち、投票した候補者を「たかがい恵美子さん」と回答した人は899人であり、約25%であった。一方、「投票していない」と回答した人は1,670人であり、約47.9%を占めた。その他の回答として、「誰に投票したか答えたくない」39人、「誰に投票したかについて質問しても良いのか」7人、「記入なし」89人、という結果が得られた。

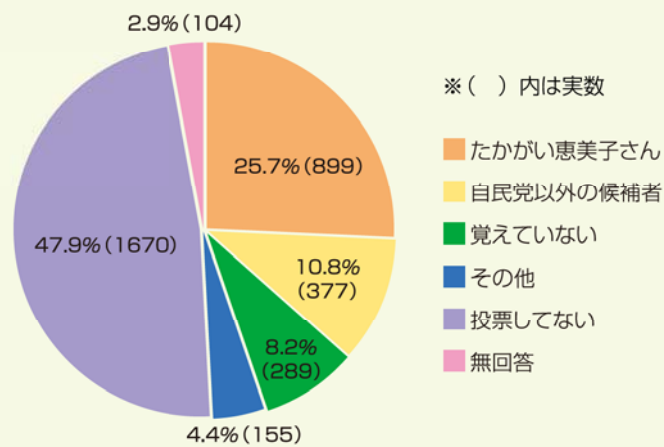


図1 回答者全体における「投票した候補者」の割合 (%)

### 3. 看護を代表する候補者への投票を促すための効果的な方法

看護を代表する候補者への投票を促すために「どのような方法が効果的か」を尋ね、その結果を図2に示した。

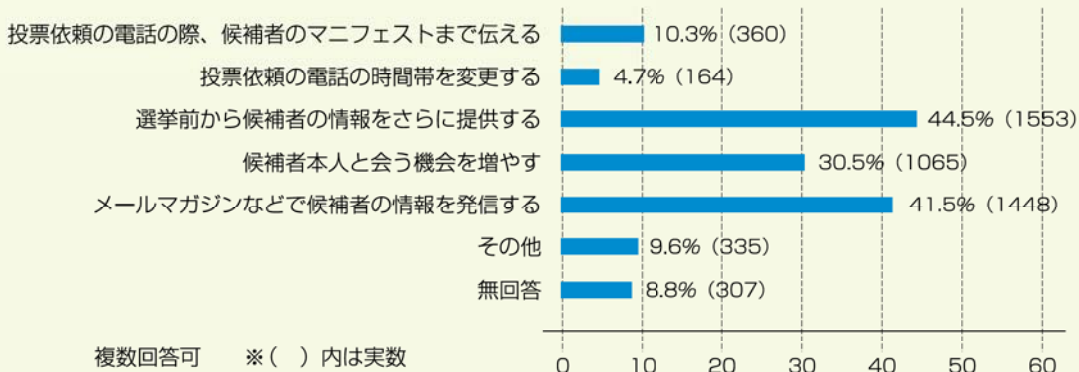


図2 回答者全体における「投票を促す効果的な方法」の割合 (%)

最も多かった回答は「選挙前から候補者の情報をさらに提供する」であり、約45%を占めた。次に多かった回答は「メールマガジンなどで候補者の情報を発信する」であり、約42%を占めた。3番目に多かった回答としては「候補者本人と会う機会を増やす」であり、約31%の回答が得られた。

(文責 青年部 Life 又吉)

平成  
22  
年度

# 宿泊研修

日 時 平成22年10月29日(金)  
30日(土)

場 所 ホテル大箱根

参加者 82名



平成  
22  
年度  
宿泊  
研修  
〜  
みんな  
で  
支え  
よう、  
看護  
の  
現  
場  
〜  
御  
席

**講演1**

『混迷の政局でどうなる社会保障』

講師 大林 尚 氏

**講演2**『拡大する看護の機能と  
期待される専門性』

講師 紙屋 克子 氏



横浜なぎさ会の皆様によるフラダンス

## 宿泊研修に参加して

東海大学医学部付属病院 県西支部 佐藤 政代

箱根仙石原のススキが丘の上一面を占める日常とは異なる環境で、看護連盟の宿泊研修が始まった。まずは看護連盟および看護協会会長からご挨拶があり、次いで参議院議員選挙総括があった。選挙の結果は大事であるが、印象的だったのは選挙そのものを楽しもうとする連盟の体制である。想像できないほどの大変さがあると思われるが、それさえも楽しもうとする体制に大らかさを感じ、また連盟の力強さを感じた。さらにそうした楽しんでいるゆとりの体制は若い看護師にも魅力的に映るに違いないと感じた。

大林先生のお話から政局の動きや、政治の混迷がよく解った。また社会保障には国民の各々が多少の犠牲を払ってでもこれからの日本を考え、動かしていかなければならないということを講義の内容から感じた。目の前の損得だけでなく、50年100年先の日本を考えることが大切であり、私たちはどれだけ

考えられているだろうか、考える機会をいただいた。若いスタッフ達に看護連盟の活動を説明するとき、自分たちにすぐに反映されることよりも、私たちの後ろを歩いてくる次の世代の看護師のために…と私は話をすることが多いが、社会保障もそれに通じるところがあるのだと思った。

翌日にあった紙屋先生の講義は、看護の力と可能性を感じ、看護のすばらしさを改めて感じる事ができた。そこから思ったことは私たち看護者が元気でいなくちゃいけないという事である。疲れているスタッフが今より元気になれるよう勤務や休みの数等、微力ではあるが改善に取り組みたいと思った。

研修開始当初は緊張していたが、研修を終えた後に振り返ってみると、笑顔で過ごす時間が多かったように感じる。日常から離れた環境であることも大いに関係しているが、連盟の楽しもうとする体制が、そこそこに散りばめられていた研修だった。



# 国会見学

日時 平成22年10月5日(火)  
参加者 105名(会員70名・非会員35名)



例年参加人数60~70名、バス2台のところ、今年度は100名を超える参加者にバス3台連ねての見学になりました。これは、たかがい恵美子参議院議員当選の効果に加え、浅草寺参詣と話題のスカイツリーが、プログラムに入ったこともあるのではないかと考えています。残念ながら当日たかがい参議院議員は急遽北海道衆議院補欠選挙の応援のため不在で、お会いできませんでした。

- なかなか見る機会のない国会議事堂が見られて良かった。
- 県内選出議員の生の声を聞くことができて良かった。
- 政治が身近に感じられた。国政に対する意識、関心を持てるきっかけになった。

等参加者の意見は概ね好評でした。参加された非会員の方の入会を切に希望しています。

## 第3回 神奈川県看護連盟青年部 Life ポリナビワークショップ

### 「素敵ナース講座」を開催!

「第3回神奈川県看護連盟青年部Lifeポリナビワークショップ」では第1部の「知的ナース講座」で看護師の資格を持ち、議員秘書として働かれている伊勢田暁子さんと、認定看護師の資格を取得し、病院以外での活動も精力的に行っている東海大学医学部付属病院の中村橘子さんのトークショーを行います。第2部では皆様の「理想の私」に近づくためのスキンケア・メイク講座を企画しました。

「幅広い分野の話ができる、きれいな素敵ナースになって、生き生き働いてもらおう!」という思いを込めて開催いたします。


■開催日 平成23年3月12日(土)

13:30~16:00

その後懇親会開催予定

■場 所 ホテルキャメロットジャパン

年1回のポリナビワークショップです。皆様のご参加をお待ちしております。詳細はブログをご覧ください。



「丸文ミネラル」は、化学物質を一切使用せず、磁気力で水を浄化する浄水器です。水道管に取り付けるだけで、半永久的に浄水機能を保ちますので毎日気軽に美味しく機能的な水をお楽しみいただけます。

磁気活水装置 [丸文ミネラル]

## MARUBUN MINERAL

磁気ので、毎日の水をおいしく、ヘルシーに。

**使用方法**

丸文ミネラルの使用時は、ご家庭の水道管を、本体で挟むようにして取り付けてください。セラミック磁石のはたらきにより、特別なお手入れなしに、半永久的に水を浄化します。

1. 丸文ミネラルを本体を上下のパーツに分け、右図のように水道管を挟みます
2. 上下のパーツについている矢印マークが揃うよう方向を合わせます
3. 2箇所を付属の蝶ナットで固定します (上下のパーツを同じ方向に向けてください)

**仕様**

商品名:丸文ミネラル 磁力:4,800ガウス  
 本体寸法:幅120mm×高さ67mm×奥行80mm  
 材質:セラミック合金(磁石)、ポリプロピレン(ケース)  
 取付箇所:各種配水管

株式会社 丸文 〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-10-6 TEL 03-5694-5298 FAX 03-5694-7772

## 連盟会員として 思うこと

藤沢脳神経外科病院

小林由美子



## 現場の声

## 社会人になって

北里大学病院救命救急センター  
1日目看護師（青年部Lifeメンバー）

岩本 大希



看護師になって早いもので10年が経過します。これまでは、臨床看護師として現場で、ただひたすら看護を提供する毎日でした。

転職をきっかけに、職場の上司の勧めで神奈川県看護連盟湘南支部の研修会に参加することにしました。最初は「看護連盟って？何に」と名前を聞いたことがあっても、どのような活動をしているか、全く理解できていませんでした。

何度か研修や講演会に参加していくうちに、「看護と政治は深い結びつきがある」ことを知りました。それは、臨床現場で提供する「看護や環境を改革する」ためには、「政治力」が必要であること。また、個人の力には限界があると言う事です。そこで、看護連盟の活動を理解しつつ、看護の現場が少しでも改善できればと、22年度に湘南支部幹事となりました。

夏の参議院選挙では、「看護の代表を国政に送ろう」と、湘南支部一丸となって活動しました。この時の情熱と活気は、臨床の現場とは一味も二味も違い、良い体験をすることができました。

看護連盟の活動が、看護師ひとり一人にとって働きやすい環境になるよう、また、看護連盟の仲間が一人でも増えるよう、支部役員の任務を果たして行きたいと考えております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

社会人になって感じることは①地域連携②チーム医療です。

①について、私のいる救急領域では特に、急性期を脱した後、リハビリや慢性的治療が必要な方が少なくないと感じています。そこで他病院やリハビリ施設、在宅医療施設等との連携が重要で、そうでなければ患者さまは家へなかなか帰れないということ、授業で学ぶ以上に実感しました。②について、学生時代の漠然としたイメージと違い、Dr、Ns、PT、ME、薬剤師、栄養士等連携をとり、治療を円滑に進めていくことを、私自身がその一人となることで実感しました。

この2つから看護師としての責任と、同時に医療職のおもしろさを感じ、学生時代との看護に対する思いの変化を実感しています。

## 編集後記

連盟会員の皆様、新年おめでとうございます。

暮から予報のとおり関東地方を除いて、大荒れの天気が日本列島を襲い、年末からお正月中停電した地方もあるようです。2011年の先行きを象徴する出来事？と思うのは考え過ぎでしょうか。

タイムリーでホットな内容をお届けできるよう、広報委員一同頑張ります。（広報委員一同）

広報委員 由川 文子 山内美智子  
島山 友子 川満 直美 平間 佳明

## ジュエリーとの縁を大切に

貴女にピッタリの宝石と  
出会うことができる

## 宝石のおぎはら

〒114-0015 東京都北区中里2-4-8

TEL 03-3915-2803 FAX 03-3915-2838

営業時間 10時～19時半 定休日 日曜・祝日

<http://www5.ocn.ne.jp/~ogihara/>

## 発行 神奈川県看護連盟

発行責任者 近藤美智子

〒231-0037

横浜市中区富士見町3番1 神奈川県総合医療会館6F

TEL 045(263)2801 FAX 045(263)2802

<http://www.kanagawakangorenmei.jp/>

## 羽毛ふとんの東洋羽毛



Tested for harmful substances according to Oeko-Tex Standard 100

Tested for formaldehyde according to Oeko-Tex Standard 100

リフォーム・クリーニングなど  
羽毛ふとんのことなら何でも  
東洋羽毛にご相談下さい。

「タカライ」はエゾワカシグダ®100認証商品です。



東洋羽毛首都圏販売株式会社  
横浜営業所 横浜市旭区今宿西町1952-1

<http://www.touyoumo.co.jp>



0120-00-7663

